

## ■ ISOC理事 (Board of Trustees) 選挙結果

ISOC理事には、団体会員選出、支部選出、IAB選出の3種類があり、前二者は選挙で選出されます。日本からは江崎浩氏（東京大学/WIDE/JPNIC）が2014年に団体会員選出として理事に就任していますが、3年の任期満了を迎えるにあたり、再度団体会員選出として2期目を務めることとなりました。支部選出としては、Hans Peter Dittler氏（独）とGlenn McKnight氏（加）が選出されました。

参考：<https://www.internetsociety.org/trustees/>

## ■ ISOC-JP 2017年度Officers

ISOC-JPの年次総会を2016年12月16日に開催しました。この年次総会において2名のOfficerが改選され、2017年度のOfficersは以下の5名となりました。（\*は改選者）

Chair: 藤崎智宏  
Vice Chair: 橋俊男  
Program Chair: 中島博敬（\*）  
Secretary: 根本貴弘（\*）  
Treasurer: 宇井隆晴

## ■ ISOC-JPワークショップ

ISOC-JPでは月に1回、その時々でホットなテーマを選定し、ワークショップを開催しています。それぞれのテーマの最先端で活躍されている講師の方をお招きし、堅苦しくない雰囲気の中で参加者との議論を通して理解を深める場となっています。皆様もぜひご参加ください。

### 第21回：ドメイン名のライフサイクルマネージメント

日時：2017年2月22日（水）18:30-20:30

講師：石田慶樹様(日本ネットワークイネーブラー株式会社)

検索サイトを經由したWebアクセスが一般化している現状においても、ドメイン名はアクセス者の増加の為に重要な意味を持つものであると考えられ、サービスやイベントやプロジェクトなどのために利用されています。一方で、利用されなくなったドメイン名は、廃止された後に第三者が登録・利用することも可能で、これによるトラブルなども発生することがあります。

本ワークショップでは、ドメイン名の登録から廃止というライフサイクルを基礎として、その利用におけるさまざまな事象と、それを支える周辺ビジネスを含めたドメイン名利用の現状と問題点を共有・議論しました。



写真：第21回ワークショップの様子

### 第22回：UnicodeとPRESIS Frameworkを用いた国際化文字列の前処理方法（前編）

日時：2017年4月20日（木）18:30-20:30

講師：根本貴弘様(青山学院大学情報メディアセンター)

インターネットが様々な地域で利用されるようになり、ドメイン名やメールアドレスをはじめASCII文字集合の範囲外の文字を含む識別子の利用が求められるようになっていきます。

本ワークショップでは文字の処理について、本文と識別子という使われる場所が異なる事による扱いの違いやその必要性、インターネットでの利用において使われている実装について共有し、議論と質疑を通じて文字列の取り扱いについての理解を深めました。



写真：講師の根本貴弘氏